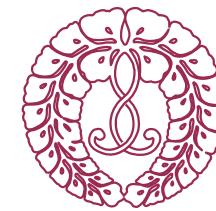


はりふる



やくよけ祖師 堀之内 妙法寺

〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内 3-48-8

Tel : 03 - 3313 - 6241

Fax : 03 - 3313 - 5007

<http://www.yakuyoke.or.jp>

かとうきよまさぶしょうず  
表紙 加藤清正武将図

せんさいえいたく  
鮮斎永濯

(天保14年～明治23年 1843～1890)画

江戸時代から明治時代にかけての浮世絵師・日本画家鮮斎永濯(小林永濯)が、明治4年(1871)に妙法寺に寄進した絵馬で、5枚つなぎの板に極彩色で金箔を引いた大作です。

法華經篤信の武将として知られる加藤  
ながえほしなりかぶと  
清正公が、愛用の長烏帽子形兜を横に置き、右手に扇を持って座る姿が勇壮に描かれています。

作者の鮮斎永濯は、元々狩野永惠の弟子として狩野派の絵を学び、その後、浮世絵に転向、西洋の写実主義を取り入れ、さらに明画の筆意を会得しました。和漢と西洋の技法が一体となった精緻かつ力強い画風で人気を博し、明治黎明期の東京で絵師としての地位を確立しています。

この絵馬が飾られている額堂は、文化11年(1814)、19世日健上人の代に再建されたもので、妙法寺では山門、祖師堂に次いで古い建物です。

額堂には他にも祖師堂建立当時の様子が描かれたものなど、江戸後期以降の絵馬や額が13点飾られており、どなたでも自由に鑑賞することができます。江戸の昔より続く“堀之内のアートギャラリー”で憩いの一時を過ごしてみてはいかがでしょうか。

宗  
歌

日蓮聖人最晩年の弘安五年に詠まれた歌です。

「生涯を振り返ると、ほんとうに様々なことがあった。命を失わんとしたこともしばしばであった。しかし、この身延のお山は、釈尊が法華經を説かれた靈鷲山と同じ。木々を渡る風も、川の流れも皆法華經の教え。今こうして身延の山で弟子、信徒に囲まれ、法華經に生かされる日々を送っている私の心は、実に安穏で豊かである。身も心も晴れ渡つてすがすがしい。」との思いがこの歌に込められています。

この歌は弘田龍太郎氏が作曲。現在、日蓮宗の宗歌となっています。

宗  
歌

日蓮聖人御詠

立ち渡る

身のうき雲もほれぬ

たえぬ御法の鷺の山風

# 山主隨想

山田日潮



小さなガラス板をローソクの炎で焙り 黒く煤のついた部分で日食を観察し 一瞬でも辺りが暗くなるかも知れない期待をして見たのですが お日様は端が少し欠けた程度で付近の様子は変わらず 日食を確認出来た喜びに少し気落ちした子供の頃の記憶があります 遠い昔の事ですので理科の授業で習った興味が膨らんだ想像の部分が有るかも知れませんが 光輝く太陽が月と重なり隠された時の大自然が織り成す神秘的・幻想的な別世界へ足を踏み入れた様な情景に遭遇したい、と言う思いは歳月を経た今でも持ち続けています これは皆既日食の事ですが この時見られる太陽の最外層で真珠色の淡くぼやけた光の姿をコロナと言うそうです

このコロナと言う名称を私達は毎日聞かされました 但しこちらは 新型コロナウイルスのコロナの事です ウィルス粒子の表面に突起があり これが太陽のコロナに見えるのだそうです 令和二年もそろそろ終盤になりますが 昨年の今頃からでしょうか?

中国武漢でのウイルス感染の広がりが報道され 新型のウィルスである事から ワクチンが開発されておらず 瞬く間に世界各国まで感染が広がり続け 多くの感染者と犠牲者が

続出し止まる気配 終息の兆しは未だ見られずにいます オリンピックなどの催しが出来るのかと危惧しました 来年への延期となつたオリンピックですが果たしてどうなりますか心配です 支障は到る所で起きていますが 妙法寺の年中行事・毎月の御縁日なども 檀信徒の皆様の御臨席を御遠慮願い奉行し この先も対策を考えながらの日々を送るという始末です 半年前にはよもやこの様な事態が続こうとは思つてもおりませんでした

確かに詳しい事は分かりませんが ウィルスは随分昔から存在しており 動物・植物・細菌を宿主とし 進化しながら生存し続けて人間に感染し発病しなかつたウイルスまでもが 何時しか人体に影響を及ぼすウイルスになって出て來たと聞きました 今世界に蔓延している新型のコロナウイルスは五七七五にも変異しているそうで この先更に変異を続けて行くのでしょう 風邪の一種などと言つた人も居りましたが万病の元と言われます 新型のウイルスの感染者 平癒しながら後遺症に悩む人も多いそうです 人々の生活に心配・不安と多くの支障を齎し もたらす長々と人の心を暗闇の中に陥れている様なこのウイルスに何故美しいイメージを壊すようなコロナと言う名を付けたのでしょうか 度々報道などで粒子の拡大写真を見せられますが とても一緒の名にして欲しくない姿・型のものです

抑々日蓮聖人は 法華經の行者を守護すべき“一切の守護神・諸天の中にも我等が眼に見ええ

そもそも

て守護し給うは日月天なり”（四条金吾殿御返事）と述べられ 大聖人の御名前の由来にもなっています 何時も お日様・太陽は地球上のあらゆるものに限りなく恵を施している大切な存在であります

曰蓮聖人は仏様の世界を御曼荼羅にちがつるで認められております 中心に書かれている“南無妙法蓮華經”的御題目 文字の先 端が長く延ばされて 祀尊が末代に留め置かれた衆生清度苦海から救いあげ 悟りの彼岸へと導こうとする“法”がお日様の如く光を放ち 仏の世界の隅々まで行き渡り 全てのものが会得している と言う調和した世界を表現しています

進化をし続けると言うウイルスですが 今 新型コロナと言う進化したウイルスが感染拡大し続けて止まる事を知りません 早く効果あるワクチンが望れます しかし その免疫性を更に越える進化したウイルスが出て来る可能性を考えると本当に恐ろしい気持ちになります 今後この様なウイルスが存在する上で うまく生きて行ける人間の生活様式を作る事が必要であり大切である と言う話を聞きます 具体的な言葉では無いので難しい事ですが これは人が互いに最善の生活を模索しながら共に生きて行きましょう と言う事だと思います 又 現在新型コロナウイルスが感染拡大し続け 未だウイルスの実体が分からぬ中 感染を防ぐ為に 手洗い・嗽うがい・マスクを付け 三密を避ける事を心掛けしております これらは 自分を感染から防ぎ護る事ですが 他の人々にも感染から護ろう 移さぬように と言う思いやりの心でもあります 近頃 自国主義・個人主義的な考えが蔓延はびこる・罷り通る(自国・自分だけ 全体の事を顧慮せず自分等の考え・利益のみを貫こうとする)そんな御時世 又 ウイルス感染拡大での混乱に乗じて卑しい行為・考え方を起こす人・国があります 地球規模・世界的な難局に国・人々が助け合い共に生きて行く事が大切ではないでしょうか 医薬品・財力で国の勢力を広げようとしている国の姿を見聞きしますと情け無く不快になります 現在の新型ウイルスの感染拡大の問題を乗りきる為にも 又 地球温暖化・プラスチックに関する地球環境の問題にしても 地球を 人々の命を守って行く為には世界が心を共にして生きようとしなければ難問克服の道は遠のくばかりです 人の心が乱れた儘ままでであれば ウィルスに荒らされた世は傾き衰えるばかりになります 人は他を思いやり尊敬の念を持ち 心を一にして共に生きようとすると事が大切で 曰蓮聖人が目指された立正安國が世界に広がり “法”的光が行き渡り 調和の世の中が 今の世界の現状を変える道であり 私達がこの星で生きて行く心構えになろうかと思つております

# 日蓮聖人の手紙（三十二）

東京立正短期大学学長職  
妙揚寺住職  
立正大学名誉教授

北川前肇

問う、汝何ぞ一念三千の觀門を勧進せずして、唯題目許りを唱えしむるや。

答えて曰く、日本の二字に、六十六國の人・畜・財を攝尽して  
一も残さず。月氏の両字に、豈七十箇國無からんや。

妙樂云く、略して経題を挙ぐるに、玄に一部を收む。又云く、  
略して界如を挙ぐるに具さに三千を攝す。

文殊師利菩薩・阿難尊者は、三会八年の間の仏語を、これを挙げ  
て妙法蓮華經と題し、次下に領解して云く 如是我聞と云云

## 訳

おたずねします。あなた（日蓮聖人）は、どうして中国の天台大師（五三八—五九七）がお説きになられた、釈尊（法華經）のさとりを体得する方法として「一念三千の実践」（私たちの心にみ仏を觀想する方法）を人々にすすめることなく、ただ南無妙法蓮華經のお題目を唱えることのみを末法の私たちの信仰としておすすめになるのですか。

お答えします。私たちがいま生存している日本の律令体制のもとでは、「日本」という二字の国名の中には、六十六箇国（五畿七道）のすべての人々や家畜や財産を包みこんで、一つとして残すことはありません。ましてや、西域の月氏（國）においても、「月氏」の二字の中に、七十箇国（すべて）が含まれないことはありません。

唐の妙樂大師（七二一—七八二）は、天台大師が法華經を講説された書（法華文句）に注釈を加えられた（文句記第八）一節には、「お經の題名である妙法蓮華經の五字をかかげれば、法華經全体の一部八巻二十八品のすべてを取めている」と記されています。また、天台大師の『法華玄義』の注釈書（釈籤第一）の一節には、「簡略ながら、私たちの生存の真理である十界、十如是を示すだけでも、その中に三千法界の真理が総括されて撰められている」と述べられています。

釈尊の法華經の教えを聽聞された文殊師利菩薩や仏弟子の阿難尊者は、「二処三会」の八年にわたる説法を、はつきりと妙法蓮華經（サッダルマ・ブンダリーカ・ストラ）と名づけられ、その題目のもとに、「このように私は釈尊の教えを聽聞いたしました」（如是我聞）とおっしゃっているのです

（原漢文・建治三（一二七七）年四月十日・『四信五品鈔』・昭和定本一二九八頁）

身延山の日蓮聖人のもとへ、下総国八幡庄（千葉県市川市）に在住の有力な信徒、富木常忍より、御供養の金錢一千文（一貫文）が届けられました。あわせて、手紙の中に、私たち凡夫がお題目を唱える意義とその修行の位置づけ等について質問がなされたのです。そこで、聖人が、その間に答えられたのがこの手紙の主旨です。常忍はこの手紙が建治三年四月十日に到着したことを記し、その内容を「末代法華行者位並用心書也」と記しています。すなわち、法華經信仰とは、私たち凡夫が信心にもとづく専唱題目の重要さを示されているのです。日蓮聖人の真蹟一巻十三紙が中山法華經寺に所蔵され、国の重要文化財に指定されています。

## 解説

身延山の日蓮聖人のもとへ、下総国八幡庄（千葉県市川市）に在住の有力な信徒、富木常忍より、御供養の金錢一千文（一貫文）が届けられました。あわせて、手紙の中に、私たち凡夫がお題目を唱える意義とその修行の位置づけ等について質問がなされたのです。そこで、聖人が、その間に答えられたのがこの手紙の主旨です。常忍はこの手紙が建治三年四月十日に到着したことを記し、その内容を「末代法華行者位並用心書也」と記しています。すなわち、法華經信仰とは、私たち凡夫が信心にもとづく専唱題目の重要さを示されているのです。日蓮聖人の真蹟一巻十三紙が中山法華經寺に所蔵され、国の重要文化財に指定されています。

# 日蓮聖人の生涯

【第十一回】

遠藤教温

## ◆『觀心本尊抄』の執筆

文永八年（一二七一）十月二十八日、佐渡塚原の三昧堂に着かれた日蓮聖人は、降り積もる雪と寒さの中で飢えに耐え、死と向き合いながら、『開目抄』を執筆されました。

（本誌52号参照）

「日蓮といいし者は、去年九月十二日子丑の時に頸<sup>くび</sup>はねられぬ。これは魂魄<sup>こんぱく</sup>佐渡の

国にいたりて、返る年の二月雪中にしるして、有縁の弟子へ送れば恐ろしくて恐ろしからず。みん人いかにおじずらむ。これは釈迦・多宝・十方の諸仏の未来日本國當世をうつし給う明鏡なり。かたみともみるべし。」

（日蓮私自身の体は、去年九月十二日、

龍ノ口において斬首され、魂魄が佐渡に渡つてこの書を著し、弟子たちに送ったのだから

らいまさらどのようなことがあろうとも、なんら恐れることはない。この書は法華經の諸仏が現在の日本を写しだした曇りのない明鏡である。これは日蓮の遺言の書と見なければならない。）

日蓮聖人がこのようにおっしゃるとおり『開目抄』は日蓮聖人の遺言の書であり、門下をはじめ一切衆生の心の闇を開眼する信仰の書でもありました。

（日蓮聖人を預かった一谷入道は熱心な念佛の信者でしたが、母親とともに次第に日

蓮聖人にひかれ、やがて深く帰依するようになります。本誌51号でも記しましたが、

阿仏房と妻の千日尼は、監視の目を盗んで日蓮聖人に食料などを届けています。これにこたえて日蓮聖人は、「悲母が佐渡の国に生まれかわって、日蓮を助けてくれているのだろうか」と、千日尼に厚い感謝の言葉を書き送っています。他にも、國府入道

明けて文永九年の四月頃、日蓮聖人は約半年過ごした塚原三昧堂から一谷に移されます。以後、赦免されるまでの二年間をここで送られることになります。移された理由はよくわかりませんが、二月に鎌倉で内

— 11 —

や中興入道など地元の有力な信者も増え、やがて鎌倉から弟子や信徒がはるばる海

を渡つて日蓮聖人のもとを訪れるようになります。中でも日妙尼は幼い娘を連れてはるばる鎌倉から佐渡の日蓮聖人のもとを訪ねました。聖人は「いまだ聞かず、

女人の仏法を求めて千里の道をわけし事を」（『日妙聖人御書』）と、その求道心を讃え、「日本第一の法華經の行者の女人」であると「日妙聖人」という号を与えています。

文永十年（一二七三）四月、五十二歳の日蓮聖人は、『開目抄』で明らかにした内容をさらに教義理論を以て詳しく述べた『觀心本尊抄』を著述します。

単に『本尊抄』とも略されるこの書の正式な書名は『如來滅後五五百歲始觀心本尊抄』といいます。「如來滅後五五百歲」とは、お釈迦様が入滅してから五百年ずつ区切つて五度目の五百年ということで、五×五百年つまり釈尊滅後二千五百年にあたる末法のはじめのことです。

仏教の時代区分では、釈尊入滅後の千年間を「正法」といい、釈尊の正しい教えが実行され、悟りも証明される時代であるとされます。次の千年間は「像法」といい、教法は存在し、修行も行われるが、悟りの得られない時代です。その後の時代を「末法」といい、仏の教えのみが残つて、修行する



仏陀釈尊ぶつだしゃくそん

同じく久遠の命を得ることがで  
きるとお説きになられたのです。

「お題目」とは、私たちが仏になることのできる「慈悲の珠」です。正しい信仰の心を失っている末法の私たちのために、み仏は大慈悲心を起こして「妙法蓮華經」の中にこの「仏になる慈悲の珠」を包んで譲り与えて下さっているのです。大事なことは、私たちがこの「珠」を受けたもつかどうかなのです。

『觀心本尊抄』完成後、日蓮聖人は『本尊抄』で示した本尊の姿を「大曼荼羅」として具体的に図顕しました。

本尊とは最も優れた尊いものであり、私



# お祖師様と私

このコーナーでは、当山とゆかりのある方々をご紹介します。

第三十一回

落語家 古今亭 今いちさん

大田区生まれの僕にとつて日蓮宗はとても馴染み深いお宗旨です。近くに池上本門寺があり、毎年お会式が楽しみでした。そんな僕がご当山とご縁ができたのも

お祖師様のお導きなのでしょう。初詣のご案内から始まり、節分、そして毎月二十三日に開催して頂いている「堀之内寄席」。僕の一年は妙法寺と共にあります。

この寄席は我々、落語芸術協会（略して、げいきょう）の二ツ目（前座修行を終えて真打を目指す身分）が主に出演させて頂いております。二ツ目になるとお互いの芸に触れる機会が少なくなります。ですから、こちらは芸に刺激を受ける貴重な場となっています。しかも出囃子は生演奏です。ご来場お待ちしております。

この堀之内寄席を始めた三遊亭圓右師匠から、右紋師匠、僕の師匠である古今亭今輔、僕まで数えると一門で四代お世話をなっています。一門ひいては我が協会はご縁が深い。「なむみようほうれんげいきょう」と言いますから。



たちが拠り所とすべき仏の救いの世界を示すものです。ですから、永遠に生き続け、全てを救い導いて下さる久遠の釈迦仏こそが本尊であり、釈迦仏の教えである「法華經の題目」も釈迦牟尼仏そのものなのです。私たちが「釈迦仏・法華經」を本尊として信じ、帰依して「南無妙法蓮華經」と唱える姿は仏の世界そのものであり、その世界を文字で表したのが大曼荼羅なのです。

日蓮宗の寺院は、全国に約五千ヶ寺あります。その中でも、特に縁の深い寺院のつながりを「法縁」と呼んでいます。ここでは、堀之内妙法寺を中心とする「堀之内法縁」に属する寺院を紹介していきます。

# 自厚山 清兮寺

妙法寺山主 山田 日潮 代務

自厚山清兮寺は、総本山身延山久遠寺菩提梯の昇り口の左手に位置し、身延山七十四世の吉川日鑑<sup>きのかわにちかん</sup>上人によって明治十八年十月十九日、開創されました。

日鑑上人は院号を自厚院、雅号を清兮と称し、優れた漢詩を詠み、名筆家としても知られました。その日鑑上人の院号・雅号に因み、当寺の山号・寺号とされました。

ど、明治期の身延山中興の一人に挙げられています。

また日鑑上人は、身延山二世日向<sup>にこう</sup>上人の旧跡<sup>ひのさわばう</sup>樋澤坊(慶応元年に類焼)

の再興の為、官有地となっていた

旧樋澤坊跡地の払い下げを受け、



▲日鑑上人像  
明治十八年十月十九日、寺号公称を出願。この日を以て清兮寺開創の日としています。その後、堂宇を建立し、晩年を過ごす予定でしたが、完成の時を待たず、明治十九年一月十三日、御遷化されました。同年一月二十一日の本葬儀の

際には、葬列が御草庵へ向かう途中、当寺に立ち寄り、御隠棲に擬したということです。



▲土蔵造りの本堂

日鑑上人を継いで当寺二世となられたのは  
後の堀之内妙法寺<sup>たけみにちじょ</sup>二十九世武見日恕上人で  
す。日恕上人は、内山妙廣寺で日鑑上人に師  
事。その後、日鑑上人に隨い身延山に入山、久  
遠寺執事を務め、焼失した身延山復興の為に  
日鑑上人と共に全国を奔走されました。

日鑑上人御遷化後の明治十九年三月、建立  
半ばであつた清芬寺の住職に就き、これを完成  
させました。そして、同年五月十八日、日薩上

人の強い薦めにより三十四歳で堀之内妙法寺に晋山その後も代務住職として当寺の発展に尽力されました。



酒井夫人肖像

当寺本堂は、土蔵造りの重厚な姿で、莊嚴な内装、さらに檜材をふんだんに使つた高貴な客間など高い格式を感じさせます。

明治末期から大正初めにかけて、身延山・酒井家と所縁ある多くの文人墨客<sup>ゆかり</sup>  
が当寺に宿泊しています。現在も往時の霧廻気そのままに、境内は閑寂な空気に包まれ、春の枝垂れ桜、秋の紅葉の名所として訪れる人の目を楽しませています。

縁から、堀之内妙法寺歴代山主が当寺代務住職に就任し、寺門の護持丹誠に務め、現在に至っています。



清兮寺

【所在地】〒409-2524  
山梨県南巨摩郡身延町西谷3573  
■03-3313-6241(堀之内妙法寺)  
【交通】  
●最寄り駅: JR「身延駅」下車バスタクシーで12分  
●最寄りバス停: 「身延山(門前町)」より徒歩5分  
●高速バス: バスタ新宿→身延山(完全予約制)/お問い合わせ  
京王高速バス予約センター ■03-5376-2222



▲歴代廟

庭園から見た書院 ►



— 19 —

当寺の本堂は日恕上人に帰依していた旧播州姫路城主酒井忠顕伯爵文子夫人（顕寿院さかいただてるあやこ）の喜捨により建立されました。文子夫人の祖山讚仰の念は大変篤く、毎夏必ず当寺にて暑を避け、読経の日々を送られており、また、身延山並びに当寺に対する丹精も多大なものがありました。明治二十五年造立の御草庵跡の玉垣も文子夫人の喜捨によるものです。明治三十一年建立の



# 日蓮大聖人 御降誕 八〇〇年



◀誕生寺・  
日蓮聖人  
ご幼像

来る令和三年一月十六日に  
日蓮大聖人御降誕八〇〇年を迎えます。

そこで、いつもは皆さまからの質問にお答えする本コーナーですが、今回は日蓮大聖人御降誕の地、大本山小湊誕生寺 法務部長松岡教詔上人にお話を聞きしましたのでご紹介したいと思います。



Q・誕生寺の歴史をおしえて

まず始めに、誕生寺の歴史を語る前に、堀之内法縁の三本山の一つ、上総興妙覚寺（勝浦市）の由来を述べたいと思います。

文永元年（一二六四）十月、日蓮大聖人は母梅菊の重病を聞いて故郷小湊に戻り、「母を助けたまえ」と法華経に祈願し母を蘇させ寿命を四箇年延ばしました。

御妙判『可延定業御書』に「されば日蓮悲母をいのりて候しかば、現身に病をいやすのみならず、四箇年の寿命をのべたり」と書かれています。この不思議を耳にした興津の領主佐久間重貞公は、日蓮大聖人を招いて邸内の釈迦堂で十月十五日から二十四日まで、十日間にわたって法華経の尊い教えを聴聞し、日蓮大聖人の檀越（信者）になり、釈迦堂を日蓮大聖人に寄進しました。日蓮大聖人はこの釈迦堂を「妙覺寺」と名付けました。さらに重貞公は、わが子長寿丸を日蓮大聖人の弟子とし、郷公田保（たけじゅま）という名を授けました。また、重貞公の弟竹寿丸（たけじゅまる）も日蓮大聖人の弟子となり、寂日房日家（きよふじゆうじやか）と称しました。両上人は日蓮大聖人の教えを弘め、父重貞公の願いを受け継ぎ、日保上人が妙覺寺の一世人、日家上人は二世人となり、妙覺寺の繁栄に尽力しました。

Q・日蓮大聖人の  
御降誕についておしえて

日蓮大聖人は貞応元年（一二三二）一月十六日、父實名次郎重忠（妙日尊儀）、母梅菊（妙蓮尊尼）のもと漁師の子として小湊片海（かたうみ）の地に誕生されました。

その時、日蓮大聖人の誕生を祝うかのように

「三奇瑞」さんきずいが起きたと伝えられています。庭先から泉が湧き出し産湯に使つた「誕生水」、時ならぬときに浜辺に青蓮華が咲いた「蓮華ヶ渕」、海面に大小の鯛が群れ集つた「妙の浦」という話です。

妙の浦ではまた、日蓮大聖人が御両親の御供養の為に小舟にて海上に出て御題田をお唱えしたところ、海面に御題田の文字が浮かび、それを海中から現れた鯛の群れが食べ尽くしたという伝承が残っています。この水域の鯛は日蓮大聖人の化身とされ、現在に至るまでずっと禁漁区として守られてきました。

## Q・「鯛の浦」と聞いた ことあるけど?

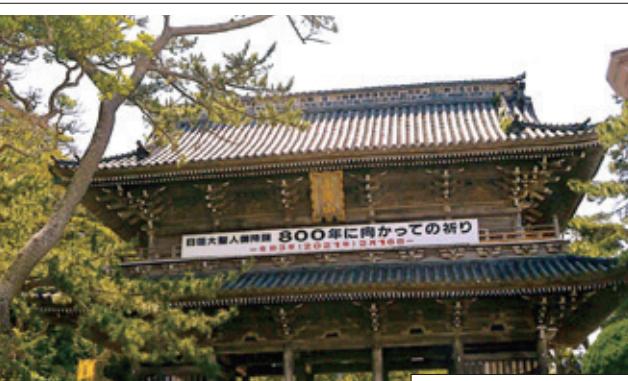
この水域は、江戸元禄期に日蓮宗の先師によって「妙の浦」と名付けられ



て以来、地元ではその呼称が定着しました。しかし、全国的には「鯛の浦」が名高く、大正十一年（一九二二）の特別天然記念物指定名称も「鯛の浦タイ生息地」となっています。

九十五尺。堂内の五十一本の檼の丸柱と用材は江戸城改築用として、仙台伊達家の藩船が江戸へ運ぶ途中、小湊沖で遭難しこれを譲り受けた物です。その他本堂・仁王門・誕生堂・太田堂・龍王堂・日蓮聖人御幼像・宝物館等があり爾来連綿としてその法燈が続いています。

誕生寺は明応七年（一四九八）、元禄十六年（一七〇三）の一 度の大地震 大津波の天災に遭いましたが、水戸徳川光圀公の外護を得て七堂伽藍が再興されました。宝曆八年（一七五八）大火により仁王門を残し全山を焼失しましたが、弘化三年（一八四六）現在の祖師堂が再建されました。「蘇生願満日蓮大菩薩」の御尊像を安置する祖師堂は、第四十九世日闡上人が十万人講により、完成されました。総檼造り雨落ち十八間。高さ



▲仁王門

総門▶



さんきずい

たんじょうすい

しゃうれんば

れんげがふち

たえうら

たんじょうすい

## Q・御降誕八〇〇年に向けての取り組みについておしえて

御降誕八〇〇年に向かつての取り組みは、次のスローガンを掲げて既に始まっています。

### 【八〇〇年に向かつての祈り】

- ◎この世の中を蘇生<sup>よみがえ</sup>らせよう。日本の国を、もう一度蘇生<sup>よみがえ</sup>らせよう。その為には、まず私たち一人一人が蘇生<sup>よみがえ</sup>ろう。
- ◎「南無妙法蓮華經」を、一人一人の心に灯火として点そう。
- ◎自らよみがえ蘇生<sup>よみがえ</sup>つて立ちあがろう

具体的には、◆境内整備（祖師堂屋根瓦全面葺き替え・誕生水井戸の復元・蓮華ヶ渕の整備等）◆全国からの団参受け入れ準備◆地元宗務所・鴨川市・観光協会等各種団体と連携した行事が

▼祖師堂へ続く参道



▼誕生堂



### 【出開帳一例】

#### 一、宗祖御幼像練行列

#### 一、宗祖御幼像遷座

#### 一、誕生寺

慶讃布教師

による法話

#### 一、御降誕八〇〇年

慶讃法要

◀誕生堂の御幼像

おわりに



これから宗祖御降誕八〇〇年を迎えるに当たり、更に多くの方との結縁に向けて、広く全国寺院へ募り宗祖御幼像の出開帳を行つております。百年に一度の慶事に際し、誕生寺と全国信徒との結縁につながる事を願つてやみません。

順調に進み始めました。

しかし、四月に新型コロナウイルス感染症のため緊急事態宣言が発令されると、本年度の団参考が全て中止・延期となり、各計画も頓挫してしまいました。本記事作成時点では、緊急事態宣言は解除されたものの、残念ながら各事業の再開の見通しは未だ立たないのが現状です。

◎この世の中を蘇生<sup>よみがえ</sup>らせよう。日本の国を、

もう一度蘇生<sup>よみがえ</sup>らせよう。その為には、まず私たち一人一人が蘇生<sup>よみがえ</sup>ろう。

◎「南無妙法蓮華經」を、一人一人の心に

灯火として点そう。

◎自らよみがえ蘇生<sup>よみがえ</sup>つて立ちあがろう

# かわら版

新型コロナウイルス感染症の拡大状況により  
行事内容が変更になる場合があります。

## 第七百三十九遠忌

### ○ 宗祖 報恩お会式

本年は日蓮大聖人第七百三十九遠忌に当たります。当山では、次の日程にて報恩お会式を奉行いたします。命を懸けて法華経の教えを弘め、私たちの幸せと世界の平和を願われた日蓮大聖人のご遺徳を偲び、その深いお志を受け継いで行こうという誓いを新たにするとともに報恩感謝の誠を捧げましょう。

**十月十三日(火) 宗祖報恩お会式**  
報恩法要……十時・十三時(祖師堂)  
報恩大法要……十九時(祖師堂)

※いずれの法要もどなたでもご参列頂けます。

**十月十二日(月)**  
お題目道場……十一時・十三時(祖師堂)

私たちに法華經・御題目との御縁を結んで下さった日蓮大聖人にご報恩の誠を捧げる報恩感謝塔婆のお申込を承ります。

### 《日蓮大聖人報恩感謝の塔婆》

本年は、新型コロナウイルス感染症拡大の為、自我偈讀誦会・万灯練り供養は中止とさせて頂きます。例年、自我偈讀誦会をお申込頂いている檀信徒の皆様、また万灯練り供養を楽しみにしてお待ち頂いている皆様にはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

### 自我偈讀誦会・万灯練り供養の中止



(申込〆切 十月十一日迄)

○ 報恩感謝塔婆 一本 三千円也

## ◎二十三夜尊大祭



二十三日の夜、月待ちをすれば願いが叶うとされた「二十三夜信仰」。財運・縁結びを二十三夜様にお願いする大祭です。

■〈日時〉十月二十三日(金)…十三時

■〈場所〉祖師堂西内陣

## ◎特別祈願

《特別祈願》(商売繁昌・良縁成就・他)

○祈願料 五千円也  
(お札・お守り・絵馬授与)



▲二十三夜尊の祭壇と柵が、皆様の浄財により新調されました。

## ◎七五三詣

「やくよけのお祖師さま」の前で、お子様・お孫様の健やかな成長をご祈念する「七五三のお祝い」の御祈願をお受けしております。

○祈願料 五千円也  
(お守り・お札・千歳鉢・他)

○記念写真も進呈します。

## ◎お正月壹番開帳

妙法寺独自のお札です。新年最初のお札として元旦午前0時に除厄安全・家内安全等をご祈願して授与いたします。

○祈願料 五千円也



## ◎節分会

年の節目である立春の前日にお

経を頂戴し

豆まきを行い、厄を除き、幸

多き一年を願う行事です。

■〈日時〉一月一日(火)  
法要…十四時半  
豆まき…十五時頃

（お札・節分豆・節分会・記念品沢山）



一年を通して、毎朝除厄安全・家内安全等をご祈願するものです。お札を授与いたします。

○祈願料 壱萬円也

## ◎常経施主

一年を通して、毎朝除厄安全・家内安全等

をご祈願するものです。お札を授与いたします。

○年男年女参加費 参萬円也

（お札・節分豆・節分会・記念品沢山）

かわら版

についてのお問い合わせは、  
お気軽に寺務所まで。

（電話）03-33313-6241



# 東京立正が チャイムから 解放した日

東京立正中学高等学校 校長 梅沢辰也

建学の理念の一つに「生命の尊重」があります。これは、すべての命の尊さ重んじるということです。では命とは何であると説明できるのかといえば、私は「命＝時間」と言いたい。人生百年時代という命もあれば、セミの地中七年と地上一週間という命もある。どちらにしても限りある命を大切にしようと思えば、時間を大切にすることとゴールと言えるのです。では時間というものを学校の中で考えてみます。

するとそこには必ずチャイムというものがくつづいてきます。時間を告げる合図がチャイムなのです。合図によって、学校に集っている人たちは行動していくことになっているのです。ですから、本校ではチャイムをやめたのです。私の時間、クラスメイトの時間、先生の時間、全ての人の時間が共有されています。命の共有なのです。「こんなに大切なものを何かの合図によって、反応して行動するなんて」とがってよいものでしようか。反応ではなく、自分の意志と判断によつて「今は○○をする時間」「今は○○をしない時間」と決めていかなくてはいけないのです。そうでなくては「命＝時間」がもつたいないのです。「生命の尊重・慈悲・平和」を建学の理念とする本校だからこそチャイムをやめても、生徒たちはそれが当たり前として自ら判断し、日々の学校生活を楽しんでいるのです。

# Open Campus

全てはコミュニケーションから始まります。

私たちは持っている!!  
心が通じ合い、互いに信頼し、受け入れ合うチカラ。

東京立正短期大学  
現代コミュニケーション学科  
(共学)

- 現代コミュニケーション専攻
- 幼児教育専攻  
保育士・幼稚園教諭養成課程
- 心理コース
- ビジネスコース
- 観光コース

本学の奨学金制度をご利用ください。

待ってるよ~

**SCHEDULE**

オープンキャンパスの日程

令和2年: 9月12日(土)	→ 全日10:30~開催いたします。
9月19日(土)	
9月26日(土)	
10月 4日(日)	
10月17日(土)	
10月24日(土)	
12月12日(土)	
令和3年: 1月30日(土)	
2月 6日(土)	
2月27日(土)	
3月20日(土)	

※日程が変更になる場合がございます。  
詳細・最新情報はホームページにてご確認ください。

予約制

\*青字日程は在学生によるミニオープンキャンパス。

東京立正短期大学  
Tokyo Rissho Junior College

〒166-0013 杉並区堀ノ内 2-41-15 TEL 03-3313-5101 FAX 03-5377-7641  
URL <http://www.tokyorissho.ac.jp/>

# TOKYO RISSHO

完全中高一貫プログラムのグランドデザインで  
国際社会での活躍を目指した  
真のグローバルリーダーを育てています。

まずは、学校説明会・ホームページへ。

## 2021年度入学者対象 学校説明会日程

中学校	高等学校
2020年 9月12日(土) — 14:30	2020年 9月27日(日) — 10:00 ☆
2020年10月24日(土) — 10:00	2020年10月17日(土) — 14:30
2020年11月28日(土) — 10:00 ○	2020年10月31日(土) — 14:30
2020年12月12日(土) — 10:00	2020年11月 7日(土) — 14:30
2021年 1月 9日(土) — 14:30	2020年11月21日(土) — 14:30
2021年 1月16日(土) — 10:00	2020年11月28日(土) — 14:30 ○
	2020年12月 5日(土) — 14:00

○は中高同日説明会を実施予定です。また、☆の日は学園祭を予定しています。

いずれも、会場は本校です。上記日程は変更になる場合がありますので、必ず最新の日程をホームページで事前確認の上、お越し下さい。

**学校法人 堀之内学園**  
**東京立正 中学校 高等学校**

〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内 2-41-15  
TEL 03-3312-1111 FAX 03-3312-1620  
URL <http://www.tokyorissho.ed.jp/>

## 教 誌 編 集 委 員

委 員 長 員	小 田 雄	教 豊
委 員	嶋 田 教	理 教
	吉 田 教	深 教
	山 田 教	亨 教
	山 形 教	享 教
	宇 都 教	侃 教
	新 井 教	慧 教
	望 月 教	隆 行 教
	望 月 教	善 行 教
	石 川 教	義 教

はりのうら

第53号・令和2年 8月発行

「希望」を持ちましょう。  
♪♪恋するフォーチュンクッキー、  
未来はそんな悪くないよ～ハイ～ハイ～♪♪  
この様な時こそ、あせらず、あきらめず、心静かに  
お題目を唱えましょ～!!

## 編 集 後 記

今年もまた地球温暖化による各地の大災害やコロナウイルス感染による外出の自粛など、後ろ向きの話ばかりですが、先日良いニュースがありました。三十年ぶりに最年少の弱冠十七歳の藤井聰太七段が、「新棋聖」となり多くの記録を塗り替えた若者が誕生しました。久しぶりに実に喜ばしい明るいニュースが人々の心を癒してくれました。長い間家にいることが多くなって、家族で話し合うことがふえた、また皆で料理を工夫して作つたとか、お仏壇に手を合わせる機会が増えたなど、普段の生活も様変わりしてきましたが、これからも将来にも皆さん

清冰屋

〒166-0013 杉並区堀ノ内 3-48-3 03-3311-0725

【営業時間】和菓子 ◇10時～17時  
手打ち蕎麦 ◇11時～18時(以後はご予約のみ)  
◆火曜日：11時～15時  
※いずれも蕎麦がなくなり次第終了

【定休日】和菓子 ◇火・水曜 [※三のつく日は共に営業]  
手打ち蕎麦 ◇水曜 [致します。(振替休日有)]

仏壇・仏具・位牌

みす平は創業300余年の神・仏具の専門店  
オーダーメイドでの仏壇製作から、古くなった仏壇・仏像・お位牌などの修理、修復も承ります。

良品 安値!

みす平は10年後、20年後の信用を大切にします。

神・仏具のみす平

株式会社 みす平 飛天堂

042-334-9981 FAX 042-334-9982  
〒183-0045 東京都府中市美好町1丁目30番地の13  
<http://www.misuhei.co.jp>

ご葬儀をご想いへ

ムラカミの安心と信頼が皆様の想いをサポートいたします。

ご家族葬から社葬・団体葬までご対応。  
1級葬祭ディレクターが責任を持って担当いたします。 1級

365日24時間自社所有の寝台車による速やかなお迎え。  
霊安室も完備しております。

葬祭業安心度調査 AAA評価 JECIA格付 ★★★★★認定

村上葬祭 株式会社 ムラカミ

〒156-0051 東京都世田谷区宮坂3-28-2  
<http://www.murakami-sousai.co.jp>

ご葬儀・ご法要をはじめ、ご不明な点について、無料でご相談にお応えいたします。

24時間・365日ご対応 ☎ 0120-711-556

中島正石材

墓石・記念碑門壇

有限会社

中島正石材

〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内2-1-31-1-1

TEL 03-(3316)8846

FAX 03-(3316)8822

マサ